

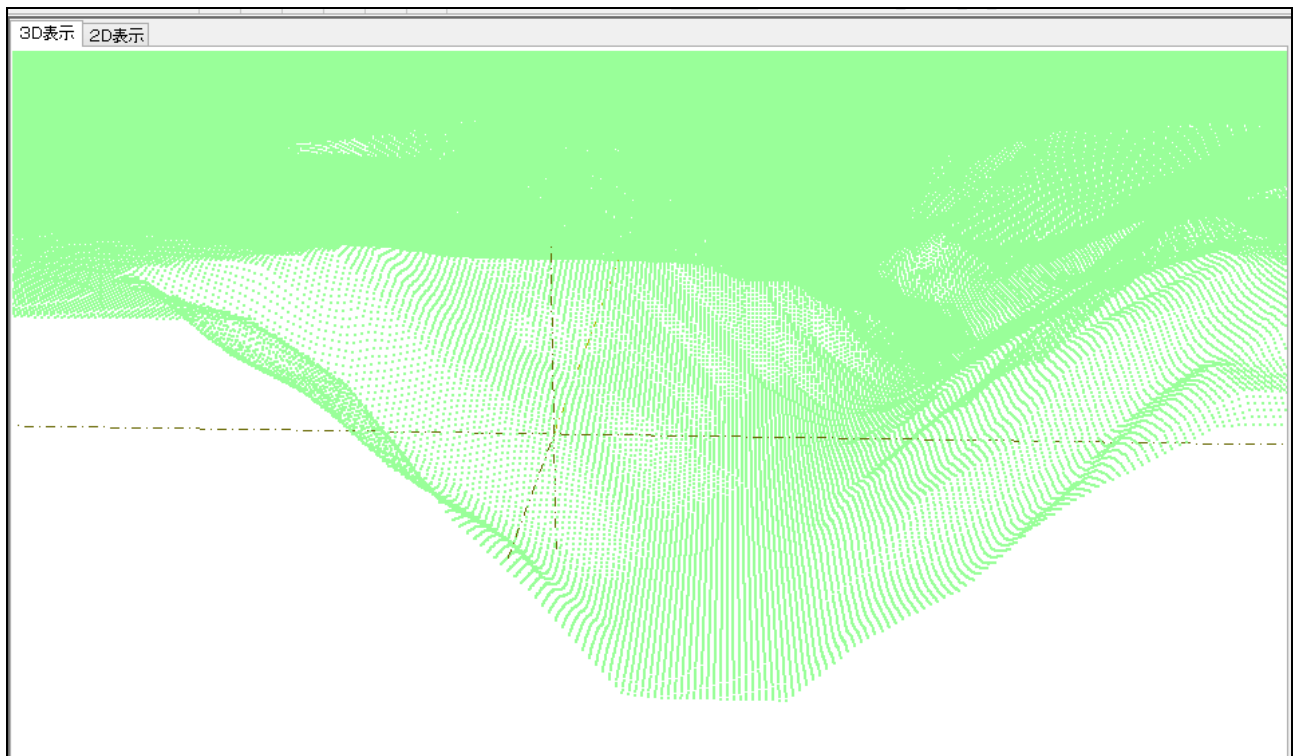
- 開く DEM(中規模データ)1
- 開く DEM(中規模データ)2
- 開く DEM(中規模データ)1
- 参照 DEM

目次

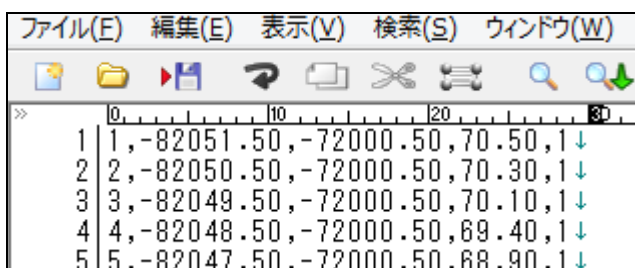
1.	機能	1
2.	ダイアログ	2
3.	更新記録	4

1. 機能

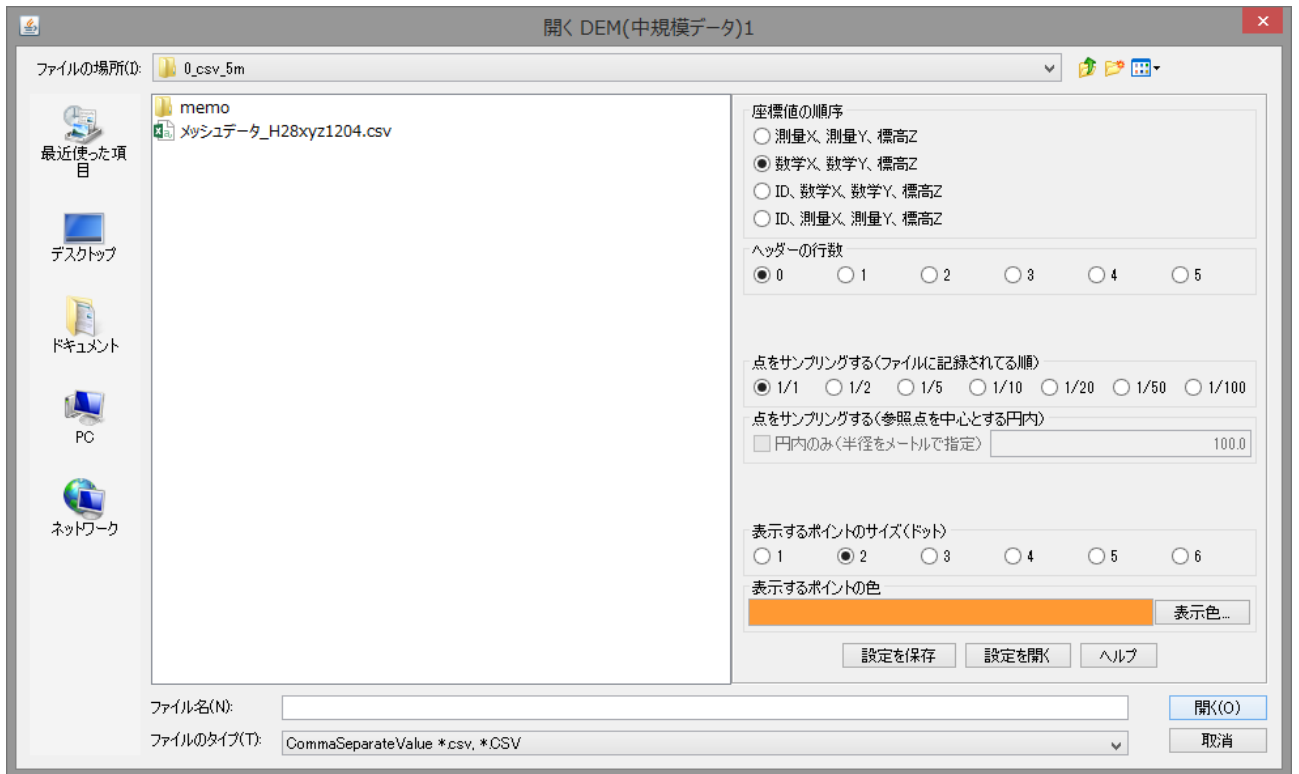
約1千万点程度までのポイントを開いて3D表示します。



ポイントのファイルは、.csv や.txt で、1行に1点のXYZ座標が記録されているものとします。



2. ダイアログ



座標値の順序

入力ファイルの何列目に XYZ 座標が記録されているかを指定します。今後、パターンを増やしていきます。

ヘッダーの行数

入力ファイルにヘッダー行がある場合、その行数を指定します。ヘッダー行がない場合は 0 を指定します。

点をサンプリングする (ファイルの記録されている順)

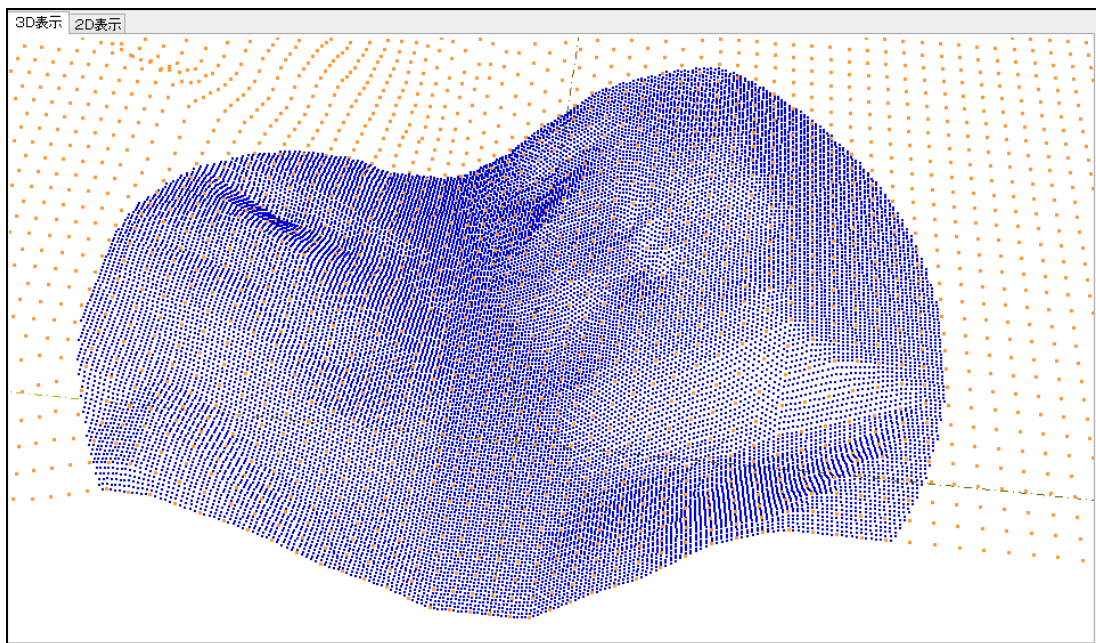
点をサンプリングし、表示する点数を減らします。サンプリングはファイルに記録されている順に、等間隔でサンプリングします。「1/1」はサンプリングしないことを意味します。

表示のためのメモリが減り、表示のパフォーマンスがよくなります。

点をサンプリングする (参照点を中心とする円内)

参照点を中心とする円内のみ表示します。先に別のデータを開き、参照点の座標がセットされている場合に有効です。

表示のためのメモリが減り、表示のパフォーマンスがよくなります。



上図で、青い点が円内でサンプリングした点です。マゼンタの点は、別の粗いデータです。

表示するポイントのサイズ

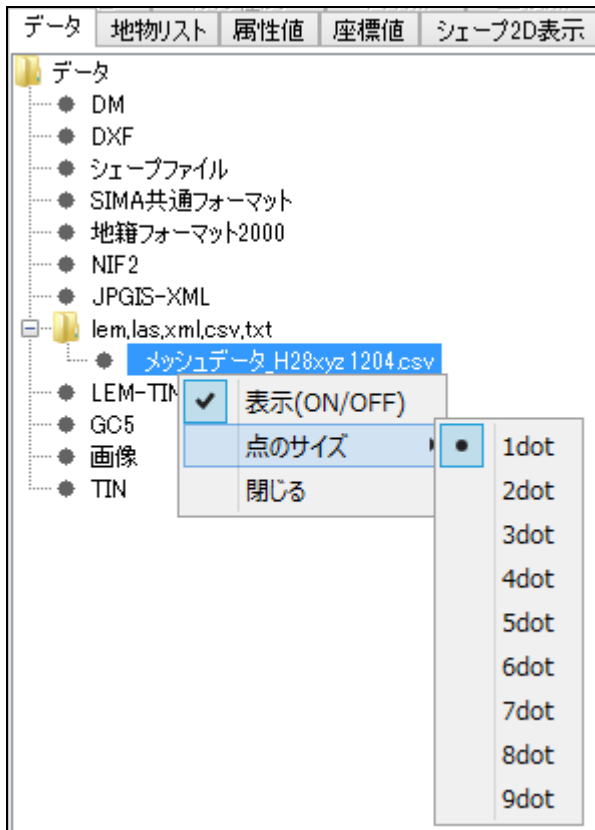
3D パネルに表示するポイントのサイズを指定します。

表示するポイントの色

表示するポイントの色を指定します。



リードした点数をレポートします。



「データ」パネルのノードで、開いたファイルの表示操作ができます。

3. 更新記録

2017/01/08

- ✓ダイアログに表示するポイントのサイズと色指定を追加
- ✓ダイアログに「ヘルプ」ボタンを追加、この説明を表示

2017/01/09

- ✓元データのパターンを追加
- ✓ヘッダー行の行数指定を追加
- ✓ファイルに記録されている順でのサンプリングを追加
- ✓参照点を中心とする円内のサンプリングを追加

2017/04/12

- ✓説明を更新